




幼児期の評価は多様で不可欠

A/ IB PYP 幼児期における評価とは何ですか？

国際バカロレア（IB）プライマリー・イヤー・プログラム（PYP）では、幼児期における評価は、学習者がどのように知識、概念、スキルを習得し、有意義な方法で応用するかを理解することに重点を置いています。子どもたちの総合的な発達をサポートするために、継続的で形成的な（学習過程での）評価を重視します。

		
知識	概念的理解	スキル
事実／情報 トピックス	ビッグアイデア/メイン アイデア 持続的な情報	戦略 プロセス
分野別アイデア/スキル	アイデアのつながり方	ATL/学習者プロフィール

PYP では、生徒が何を知り、何を理解し、何ができるかを知るために、継続的なアセスメントを実施する責任があります。私たちの目標は、現在の理解度を測定し、成功の目安につながる目標に対しての進捗状況を記録することです。

*学習者プロフィールは「評定」されるべきではないが、進歩や成長はモニターされるべきである。

(What Do We Assess in the IB PYP, <https://www.toddleapp.com/learn/blog-post/what-do-we-assess-in-the-pyp/>, 7th March 2025)

アオバジャパン・バイリンガルプリスクールでは、先生たちは生徒と協力して、意味のある評価方法について話し合い、一緒に作り上げています。生徒は自然と自分の学びの過程の主演となります。評価に関連する日々の活動（学習活動、個人プロジェクト、グループプロジェクトとして設定）に加えて、総括的な評価は生徒自身の振り返りを可視化した成果物という形で実施される場合や、校外学習、三者面談、作品展示会、生徒主導の発表会など、学校での特別なイベントとして実施されることもあります。

B/ A-JB キャンパスでの各種アセスメント（キャンパスによって学習内容が異なる場合があります。）

継続的な評価

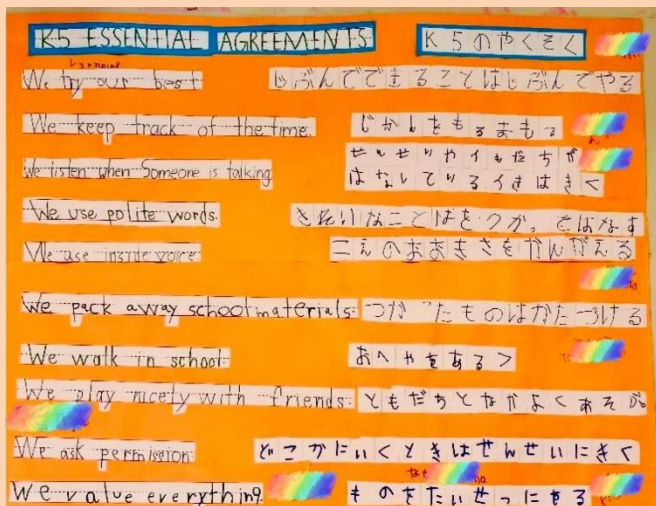
1. 作品展示会（思考の見える化）

幼児期の学びは思考の結果として生まれるものです。これにより、子どもたちは自分の考え方のプロセスを理解できるようになります。教員にとっては、子どもたちの思考過程や推論を理解するためのカリキュラム計画の基礎となる情報を得ることができます。これは子どもたちが理解を深める過程で形成している発展途中の理論や仮説を見極めるのにも役立ち、教師が単に子どもの考えを「修正する」のではなく、彼らの探究をさらに広げ、深めることができるようになります。



K4/2024: 私たちはどのように自分を表現するのか
中心的アイデア：私たちは異文化の中で、表現したり、反応したり、反応したりするために、さまざまな方法でコミュニケーションをとる。

子どもたちは、自分の好きな国や以前住む機会があった国を選んだ。その国々にスポットを当てたポスターを作成した。



子どもたちの思考を可視化することで、教師は、既成概念にとらわれない貴重なアイデアを獲得し、子どもたちの新たな興味やカリキュラムとの関連性を反映した、継続的な学習体験に有意義な形でつなげることができる。

K5/ 2024 : 私たちは自分たちをどう組織しているのか中心的アイデア：

誰もがさまざまなコミュニティでさまざまな役割を担っている。子どもたちは、コミュニティで遊んだり学んだりするときに必要だと思われる、これらの基本的な取り決めについて話し合い、発展させた。

2. 個人/グループプロジェクト

PYP は、子どもの主体的な活動と教科の枠をこえたユニットに焦点を当てている。子どもたちは、自分たちが取り組みたい活動について話し合い、決定し、ユニットの内容を深く理解するために探究することを奨励される。これらの活動を個人で行うか、グループで行うかに関わらず、教員は子どもたちを教科の枠をこえたユニットを通して導くコンサルタントとして、批判的思考、創造性、協調性を育む



K5/ 2024: 私たちは誰なのか

中心的アイデア：友だちは私たちの生活を豊かにし、私たちは友だちを通じて互いに成長しよう。

子どもたちは、グループ・プロジェクトとして高尾山を制覇したいと希望した。山頂までの道のりをクラスメートと助け合い、支え合うことで、友情が深まると考えたからだ。

K3 / 2024: 私たちはどのように自分を表現するのか
中心的アイデア：私たちは観客に伝えるためにさまざまな表現方法を用いる

ある子どもは、粘土のテーブルで個別に遊ぶことを好み、自分の思うままに表現していた。おままごとの生地をさまざまな形にする中で、人の表情が変化することに気づき、その発見を教師と共有することで、さらに理解を深めた。この経験は、彼の発達の節目を示すラーニングストーリーとして記録された。



3. 地域との連携（畑の日）

“一人の子供を育てるには、村全体の協力や知恵が必要である” - アフリカのことわざ
アオバ ジャパン・バイリンガル・プリスクール・グループでは、教員は子どもたちと地域をつなぐ架け橋です。キャンパス周辺の地域の方々と協力し、PYP のユニットに関連した学習経験を促進しています。子どもたちは、このコミュニティの中で責任を持ち、自分の学習プロセスや知識を理解し、評価する機会を得ています。



K5/ 2024 : 私たちは自分たちをどう組織しているのか

中心的アイデア：誰もがさまざまなコミュニティでさまざまな役割を担っている。
子どもたちは毎週火曜日に近所の畑にいき、生き物の生態、植え付け、野菜の世話などの話を聞く。また、さまざまなプロセスにおける責任を分かち合う。

収穫

振り返り



総括的評価

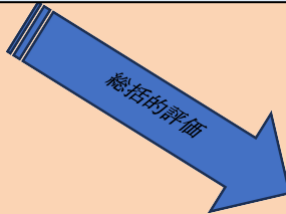
1. 遠足

先生と子どもたちがユニットを探究・研究しているときに、校外学習の場所を話し合ったり選んだりするのは興味深い。子どもたちの学習過程やエージェンシーを尊重するため、教員は子どもの話に耳を傾け、導きながら各ユニットの理解を深めている。

総括的評価は、校外学習の終わりに教科や学習スキルに注目し、子どもたちが校外学習で集めた経験を振り返ることができるようにしている。



K4/ 2024: 私たちはどのような場所と時代にいるのか
中心的アイデア： ゲームやおもちゃは時の流れとともに変わる
子どもたちは東京おもちゃ博物館を見学し、日本や世界のゲームやおもちゃについて理解を深めた。 子どもたちは、おもちゃ展を行ってこのユニットを締めくくった。他のクラスメートを招待し、このまとめのイベントの楽しみ方を伝えた。



おもちゃ展



2. 生徒主導面談（家族参観日）



K5/ 2024: 私たちは誰なのか
 中心的アイデア 友だちは私たちの生活を豊かにし、私たちは友だちを通じて互いに成長しあう。
 子どもたちは友だちビンゴゲームを作り、このイベントで保護者全員にインタビュー



保護者は年に 2 回、ファミリーオブザベーションに招待される。この間、子どもたちは生徒主導のカンファレンスを担当する。「生徒主導のカンファレンスとは、生徒が保護者をクラスに招き、学びの歩みを共有すること」。生徒たちは、PYPのユニットに関連した自分たちのアイデアに沿って、カンファレンスを計画し、進行する権限を与えられている。



K4/ 2024: 私たちはどのような場所と時代にいるのか中心的アイデア
 ゲームやおもちゃは時の流れとともに変わる
 子どもたちは、どのゲームを紹介するかを話し合っ
 て決め、家族参観週間に保護者がクラスを訪れた際に案内した。
 子どもたちは、その行事を担当する機会を持った。子どもたちは、習や評価の主体性や所有権を発揮した。

担任の指導とサポートを受けながら、子どもたちは 1 年を通しての成長や過程を表す作品を選び、会議の時間や資料の整理、本番に向けての練習のために、それぞれの作品の意味を考える！

(Student-led conferences: A celebration of learning, <https://spicewood.roundrockisd.org/2017/05/19/student-led-conferences-a-celebration-of-learning/>, 12th March 2025)

3 三者面談

学年末には、児童と教師が三者面談を行い、児童の成長を振り返り、今後の目標やゴールを設定する。子どもたちは、2つの星（成長）と1つの願い（目標／ターゲット）について話し合い、確認しあうことで、最初から自分の学習ポートフォリオに目を通し、学習プロセスを振り返る機会を持つ。

アオバグループのコア・バリューに従い、子どもたちは e ポートフォリオやデジタル・タッチボードを使いながら、三者面談で発表することを奨励されている。



結論

IB PYP の幼児期における評価は、ダイナミックで形成的、そして子ども中心である。教師は、知識、概念的な理解、スキルを評価することで、幼い学習者がどのように意味を構築し、探究者として成長していくかを深く理解する。遊びを中心とした有意義な体験を通じて、子どもたちの好奇心を育み、一人ひとりの成長を支えながら、生涯学習への準備を促すことに重点を置いている。

また、保護者、教師、地域社会は、子どもたちの学習と発達のプロセスにおいて、導き手や相談役として多様な役割を果たす。私たちは、子どもたちが「声 (Voice)」「選択 (Choice)」「主体性 (Ownership)」を持つことで、単なる知識の習得にとどまらず、能力を探究し、学び、評価することを大切にしている。

参考文献

- ❖ Carrying out an assessment: what you need to know, <https://help-for-early-years-providers.education.gov.uk/support-for-practitioners/send-assessment/carrying-out-an-assessment>, viewed on 12th March 2025
- ❖ Student-led conferences: A celebration of learning, <https://spicewood.roundrockisd.org/2017/05/19/student-led-conferences-a-celebration-of-learning/>, viewed on 12th March 2025
- ❖ What Do We Assess in the IB PYP, <https://www.toddleapp.com/learn/blog-post/what-do-we-assess-in-the-pyp/>, viewed on 7th March 2025
- ❖ Early years assessment – Getting the right balance, <https://www.eyworks.co.uk/blog/assessment-in-the-early-years-getting-the-right-balance/>, viewed on 12th March 2025